

家庭科通信

51

2013
Vol.18 No.2

◆研究室から	高校生における食育と食生活の授業づくり.....	3
	茨城大学 野中美津枝	
◆新しい動き(1)	社会意識に関する世論調査結果.....	24
◆新しい動き(2)	環境にやさしい企業行動調査結果.....	25
◆DIY でおうち磨き・3	洗面所の湿気対策.....	8
	末永 京	
◆エッセイ・和のある暮らし⑮	手仕事を残す.....	22
	石橋富士子	
[DATA FILE]	「高校生の進路と職業意識に関する調査」より.....	2
[Key Word]	フィルタリング／スーパーエコスクール実証事業／メタンハイドレート.....	23
	[Question & Answer] 小型家電リサイクル法.....	26
◆大修館書店・新教科書のご案内.....		9
◆指導資料類・副教材のご紹介.....		15
◆家庭科情報室のご紹介.....		20



大修館書店

●目標意識や挑戦意欲が低い傾向にある日本の高校生

本調査は、高校生にとって、明確で発展的な将来像を描けているかどうか、自己意識や意欲に大きく関わる重要なファクターであるという視点に立ち、高校生の職業観や将来の進路希望と予想、あるいは現在の職業経験などについて、日本、アメリカ、中国、韓国の4か国の男女高校生を対象として実施されたものである。調査結果のなかで、人生における目標意識や挑戦意欲に着目すると、日本の高校生は他の3国と比べて消極的な姿勢にあることがうかがわれた。

「人間は人生目標がないと暮らしてゆけない」という項目の肯定率(「とてもそう思う」+「まあそう思う」)を国ごとにみると、中国がもっとも高く(85.7%)、6年前より7.4ポイント増加している。それに続くのが韓国で、6年前から11.2ポイント増加して84.1%に達し、アメリカも79.6%と高い。それらに対して日本の高校生の肯定率は64.1%にとどまり、また4か国中で唯一6年前のポイントから減少している(■[1])。

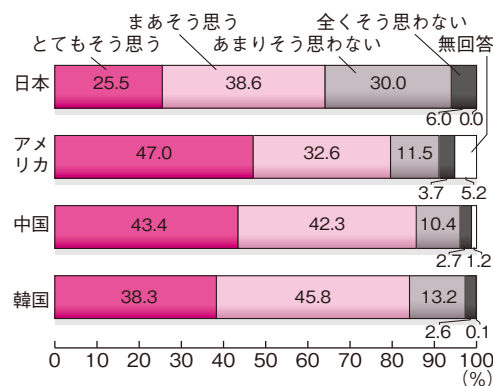
また、「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」という項目では、日本の高校生の肯定率が低く、特に「とてもそう思う」と回答した者の割合が、他3国と比べてひじょうに低くなっている(■[2])。

なお、「将来、職につけるかどうか心配だ」の項目では、韓国(76.9%)と日本(76.0%)で高く、アメリカ(58.5%)と中国(62.9%)で相対的に低いという結果となった。厳しい就職状況が続くなか、自らの将来に対する不安を抱く日本の高校生の姿が浮かび上がった。こうした不安が、目標意識や挑戦意欲の低さの背景にあるとも考えられる。

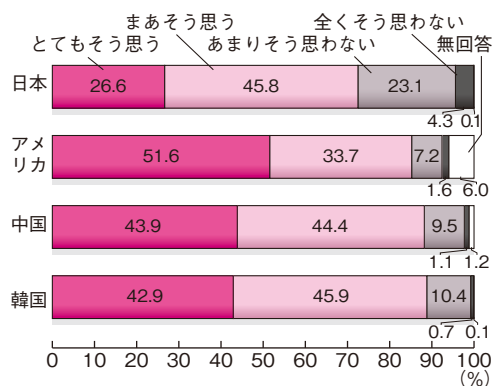
*調査時期・対象：2012年9～11月。日本1,224人、アメリカ1,024人、中国1,767人、韓国1,295人の普通科高校生、および日本879人、中国458人の専門学科高校生。

*調査概要は、(財)日本青少年研究所 Web ページ内(<http://www1.odn.ne.jp/youth-study/research/2013/gaiyo.pdf>)で閲覧・ダウンロード可能。調査報告書も発行されている。

■[1]「人間は人生目標がないと暮らしてゆけない」



■[2]「やりたいことにいくら困難があっても挑戦してみたい」



高校生における食育と食生活の授業づくり

茨城大学 野中美津枝

はじめに

2005年に食育基本法が制定され、生涯にわたって健全な心と身体を培うために特に学校における食育が重視され、現在、学校における食育の推進のため、学校給食のある小学校、中学校では、栄養教諭の配置が進んでいる。また、2008年1月の中教審答申では、学校教育における食に関する指導の充実が明記され、文部科学省から「食に関する指導の手引」(2007年、2010年改訂版)が作成されている。「食に関する指導の手引」には、小学校、中学校での学校における食育の全体計画の作成や各教科での指導について取りまとめられているが、高等学校については参考にするように記載されているに留まる。

しかしながら、子どもたちの食育で課題となっている「朝食の欠食」について、実際に朝食の欠食が急激に増加するのは、15～19歳の年代であり、2010年国民健康・栄養調査によると、15～19歳の朝食欠食率は、男女とも14%を超えている。生涯にわたる食生活の自己管理能力を養い、食生活の自立の基礎を培うためには、自分の意思で食生活を送るようになる高校生に対する食育の充実が今後の課題といえる。高等学校では、昼食指導はほとんど実施されておらず、必修教科の家庭科が食育の中核となる。現在、高等学校進学率は98.0%(2010年学校基本調査)であり、高校家庭科は必修科目として、食の自立に向けて学校教育で学習する最後の食育として重要な位置を占めている。小学校、中学校での学習を踏まえながら、食生活の自立のための正しい知識と実践力を養い

たい。

さらに、2011年には過去5年間の食育に関する取り組みの成果と課題を踏まえ、内閣府の食育推進会議で「第2次食育推進基本計画」が決定し、新たな重点課題として①生涯にわたるライフステージに応じた間断ない食育の推進、②生活習慣病の予防及び改善につながる食育の推進、③家庭における共食を通じた子どもへの食育の推進が定められた。これら3つの食育の重点課題は、まさに、高校家庭科の学習内容の課題である。

2009年告示高等学校家庭科の学習指導要領では、生涯を見通したライフステージごとの生活課題を理解して主体的に解決し、生涯を通して自己と家族が健康で文化的な生活を営む実践力を身に付けさせることを目指している。そのため、生涯を通して健康な食生活を営むために、自分の食生活を振り返らせて、毎日の食事が健康と深くかかわっていることを理解し、主体的に食生活を営むことができるようになることが求められている。

そこで、高校生における食育を推進するために、具体的に家庭科の授業でどのように取り組めば良いのかを考察することとした。まず、高校生が自分の食生活を振り返る上で効果的な食生活点検を紹介し、さらに、食生活の自己管理能力を育成するための授業の進め方について考えたい。

高校生向き食生活点検

(1) 食生活点検作成の経緯

2007年に、食育推進有識者懇談会が「食育推進国民運動の重点事項」を取りまとめ、「食育」の概念の体系的な整理がされ、「是正対象」や「望まれ

る日常行為・態様」が挙げられた。「是正対象」として挙げられている「孤食、個食、食べ残し、安易な食材の廃棄、偏食、肥満、過度の痩身志向、偏食、フードファディズム、朝食の欠食」、及び「望まれる日常の行為・態様」として挙げられている「規則正しい食生活リズム、間食・夜食の抑制」は、高校生が自分の食生活を振り返る上で適当であると考え、高校生向けの食生活点検として食生活の是正対象チェックリストを作成した(■①)。

この高校生向き食生活点検(食生活の是正対象チェックリスト)を検証するため、平成22年に高校生460名(男子214名、女子246名)に質問紙調査をして、食生活の是正対象状況と健康への影響を分析したので紹介する。

(2) 食生活の是正対象状況

食生活の是正対象10項目における該当数は一人平均2.1個で、食生活の是正対象が全くない0個の者は、14.8%しかいなかった。食生活の是正対象の各項目における該当状況で最も多かったのは、「食事時間が決まっていない」43.5%、以下、「間食や夜食をよく食べる」39.8%、「ファーストフード、インスタント食品をよく利用する」27.8%、「油っこいものをよく食べる」24.8%が多かった。高校生は、行動範囲が広がり、自分の意思で食生活を送るようになり、食生活リズムが崩れやすい時期であるが、4割以上の者が食事時

間が不規則であると回答していた。

しかしながら、食生活の是正対象について男女で比較した結果、男女で是正対象項目に違いがみられた(■②)。「ファーストフード、インスタント食品をよく利用する」「油っこいものをよく食べる」「野菜はあまり食べない」「食事はほとんど一人で食べる(孤食)」は男子の方が高く、「ダイエットをしている」「食べ残しが多い」は女子の方が高い。孤食は、女子10.6%に対して男子は17.3%と6人に1人が該当し、思春期の男子は家族や周囲との距離を置き、孤食になりやすいといえる。また、ダイエットについては、男子の3.3%に対して女子は13.0%がしていると回答しており、ダイエットは、高校生女子に関心が高いことがわかる。

(3) 食生活の是正対象項目間の関連

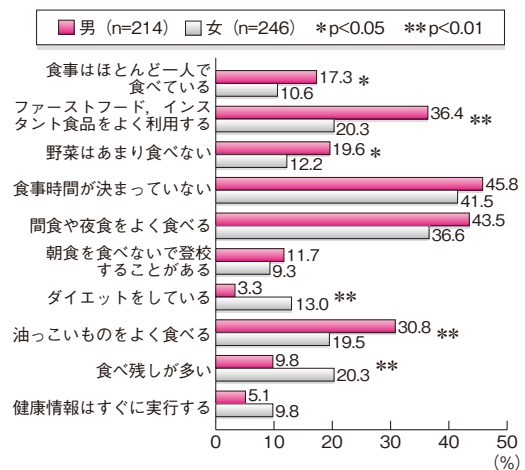
食生活の是正対象項目間の関連について、関連があると判定されたもののみを■③に示している。「孤食」の該当者は、「食事時間不規則」「朝食欠食」に関連がみられた。朝食の欠食については、幼児や小・中学生では共食者の有無が関連することが指摘されているが、高校生であっても共食者がいない「孤食」は朝食の欠食につながりやすく、食事時間が不規則になり食生活リズムが崩れやすいといえる。

「野菜はあまり食べない(野菜不足)」の該当者は、「油っこいものをよく食べる」「食べ残しが多い」に

■① 高校生向き食生活の是正対象チェックリスト

	項 目	チェック
1	食事は、ほとんど一人で食べている(孤食)	
2	ファーストフード、インスタント食品をよく利用する	
3	野菜はあまり食べない	
4	食事時間が決まっていない	
5	間食や夜食をよく食べる	
6	朝食を食べないで登校することがある	
7	ダイエットをしている	
8	油っこいものをよく食べる	
9	食べ残しが多い	
10	健康情報はすぐ実行する(フードファディズム)	

■② 男女別食生活の是正対象比較



■3 食生活の是正対象項目間の関連

(n=460) [*] p<0.05 [**] p<0.01

	孤食	ファーストフード	野菜不足	時間不規則	間食・夜食	朝食欠食	ダイエット	油っこい	食べ残し	フードファディズム
孤食	-	[]	[]	[**]	[]	[*]	[]	[]	[]	[]
ファーストフード	[]	-	[]	[**]	[**]	[]	[]	[**]	[]	[]
野菜不足	[]	[]	-	[]	[]	[]	[]	[**]	[**]	[]
時間不規則	[**]	[**]	[]	-	[*]	[]	[]	[]	[**]	[]
間食・夜食	[]	[**]	[]	[*]	-	[]	[]	[**]	[]	[]
朝食欠食	[*]	[]	[]	[]	[]	-	[*]	[]	[**]	[]
ダイエット	[]	[]	[]	[]	[]	[*]	-	[]	[]	[**]
油っこい	[]	[**]	[**]	[]	[**]	[]	[]	-	[]	[]
食べ残し	[]	[]	[**]	[**]	[]	[**]	[]	[]	-	[]
フードファディズム	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	-

関連があり、偏食の食習慣が窺える。また、「油っこいものをよく食べる」の該当者は、「ファーストフード・インスタント食品をよく食べる」「野菜はあまり食べない(野菜不足)」「間食・夜食をよく食べる」と関連がみられ、これらは、いずれも肥満につながりやすい食習慣であり、生活習慣病の予防のためにも是正が必要である。「油っこいものをよく食べる」は、■2で男子の約3人に1人が該当しており、高校生男子にみられるこれらの食習慣が、我が国の成年男子の肥満の多さにつながっていることが示唆される。

反対に女子に多かった「ダイエット」の該当者に関連がみられたのは、「朝食欠食」「健康情報はすぐに実行する(フードファディズム)」である。現在、女性の過度の痩身志向やフードファディズムによるトラブルが問題となっているが、高校生女子においてもその特徴が指摘できる。

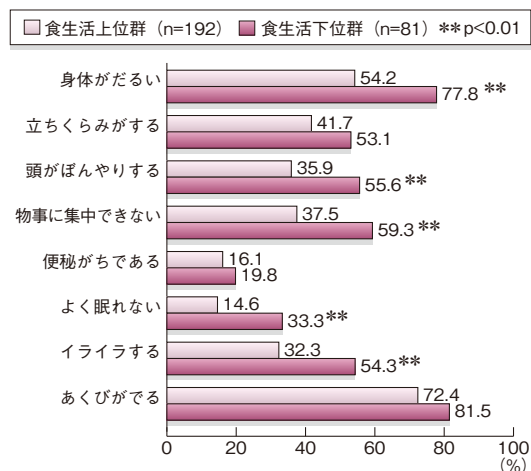
(4) 食生活上位群下位群別体調不良状況

食生活の是正対象が1個以下の者を食生活上位群、是正対象が4個以上ある者を食生活下位群として、体調不良状況を比較した結果が■4である。食生活下位群では、「身体がだるい」が77.8%と約8割に上り、「物事に集中しない」が59.3%、「イライラする」も54.3%と高く、学校生活にも影響していることが危惧される。それに比べると、食生活上位群は、「頭がぼんやりする」「物事に集中できない」「イライラする」が低く、食生活の是正対象を改善することが、意欲的に学校生活を送る上でよい影響を与えることが示唆される。

(5) 高校生向き食生活点検の活用

今回の検証結果から、「食育の体系的整理」で挙げられている「是正対象」や「望ましい日常の行為・態様」から作成した高校生向き食生活点検(食生活の是正対象チェックリスト)は、高校生の食習慣と関係が深く、特に食事時間の不規則は4割に達し、規則正しい食生活リズムの点で問題が多いことが明らかになった。また、男女で食生活の是正対象に特徴がみられ、高校生の食行動が成人男子の肥満や成人女子の過度の痩身志向につながっていることも示唆された。さらに、これらの食生活の是正対象と体調不良状況に関連がみられ、高校生が自分の食生活の是正対象を理解して解決することが高校生の学校生活の充実や将来の健康維持に貢献することが期待できる。

■4 食生活の是正対象状況による日常的体調不良状況の比較



食生活の授業づくり

(1) 自分の食生活の問題点の把握

高校家庭科では、生涯を通して健康を維持して食生活管理ができる力を付けることを目標としているが、そのためには、まず毎日の自分の食事の重要性を理解して、食生活における自己管理能力を育成し、食の自立を目指さなければならない。高校生は、自分で食事をとる機会も増え、前述の調査結果からもわかるように、食生活リズムが乱れて欠食が生じやすく、生活習慣病につながりやすい食習慣を抱えている者が多い。生涯を見通した食生活管理をするためには、青年期にある自分の食生活の問題点を正しく理解することが大事である。そして、自分の食生活の問題点を解決する方策を知り、実践する意欲を持たせることが必要である。

自分の食生活の問題点を把握させるため、導入で、「高校生向き食生活点検」を活用して自分の食生活のは正対象を理解させ、食生活分野の授業を通して改善できるように、カリキュラムを通した問題解決的な学習を目指したい。

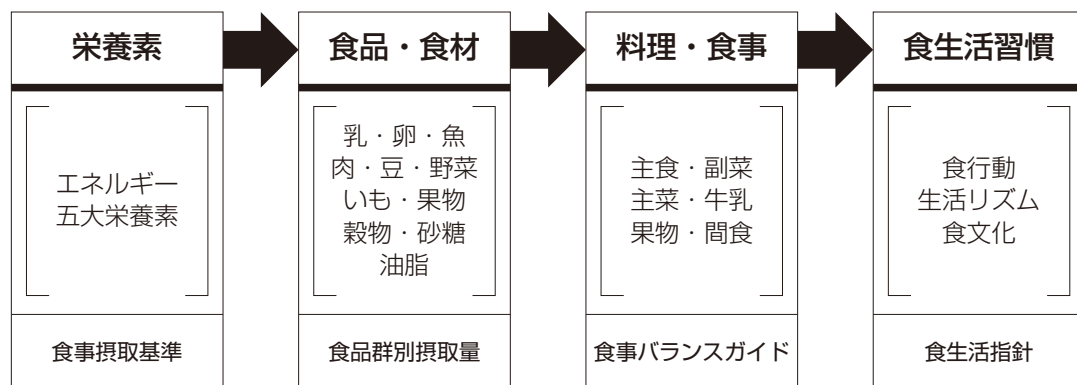
(2) 食生活の自立に向けた学習段階のレベル

授業づくりにおいては、栄養学習が具体的にどのように自分の食生活と結びついているかを実感させて、知識が実践や行動につながるようにする。■[5]は、食生活の自立に向けた学習段階レベルと基準をまとめたものである。人間は生命を維持し

活動するためには、栄養素やエネルギーが必要である。なぜ必要なのか、栄養素と健康とのかかわりを理解して、1日に必要な栄養量を示した「食事摂取基準」を押さえる。しかし、栄養素をそのまま摂取しているわけではなく、目に見えないため栄養素を日々の生活で確認し管理することは困難である。そのため、栄養素を多く含む食品として、食品群で理解し、「食事摂取基準」を満たすために具体的に食品に置き換えて示した「食品群別摂取量」を活用できるようにする。1日に必要な食品群の概量が分かれば、その食材を使って献立を考えればバランスの取れた食事となる。しかしながら、現在は食の簡便化志向が高く、外食と中食を合わせた食の外部位率は4割を超えており、1日3食をすべて食材から調理している人は限られる。食の自己管理能力を育成するためには、消費社会の現代、基礎的な調理技術の習得とともに食事を選ぶという視点が必要である。

2005年に厚生労働省と農林水産省が1日の適切な食事を理解するために「食事バランスガイド」を策定している。「食事バランスガイド」は主食、副菜、主菜といった料理ベースで示されており、摂取の目安もサービング数「つ(SV)」でイメージし易くしている。高校家庭科においては、食の自立を目指してこれまで学習した栄養素や食品との関係から「食事バランスガイド」を理解して、毎日の適切な食事管理ができるようになることを目指したい。そして、生涯を健康に過ごし食生活の管

■[5] 食生活の自立に向けた学習段階レベルと基準



理運営をするためには、それが食生活習慣として定着していかなければならない。食生活習慣の基準としては、2000年に「食生活指針」が国民の健康の増進、生活の質の向上、食料の安定確保を図るために策定されている。授業づくりにおいては、導入として「食生活指針」や「食事バランスガイド」を自分の食生活を見直すためにチェック項目として活用する方法もあるが、最終的には、栄養素、食品・食材、料理・食事、食生活習慣の関係をきちんと押さえて食生活の自立をめざしたい。

(3) 食事バランスガイド

内閣府の食育推進基本計画では、国民の60%以上が「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送るようになることをめざしており、「食事バランスガイド」は現在一般社会で最も活用されている。学習指導要領には「食事バランスガイド」の記載はないが、国民の活用促進を図るためには、学校教育への導入が必要であり、家庭科の授業を通して、高校生が「食事バランスガイド」を理解し活用できるようになることは、食育における家庭科の存在意義を発信するためにも重要と考えられる。

しかしながら、現場の家庭科教員から、数値で示されている食事摂取基準や食品群別摂取量に比べて、「食事バランスガイド」は1日でとる食事のめやすについて1つ、2つなどの単位(SV：サービングの略)で料理の絵で示されており、逆に説明しにくいという声を聞く。そこで、「食事バランスガイド」の1つ(SV)の基準値を■[6]に示したので参考にしてほしい。栄養学習では、小学校、中学校、高校で食品群の分類が3群、6群、4群と異なり、■[5]に示すように栄養素、食品、料理ベースと様々な基準があり、混乱を生じやすいが、教える側が整理し理解した上で指導し、活用力を養い、食の自己管理能力の育成につなげることが必要である。

おわりに

現在、食育は小・中学校を中心に実施されているが、高校における食育を充実させ、生涯にわたる食生活の自己管理能力を育成することが、我が

国の活力ある社会の実現に寄与すると考える。しかしながら、高等学校の家庭科の授業時間は少なく、現在、必修科目として最も履修されている「家庭基礎」は2単位が標準で、同一学年で履修するため、食育が十分に実施できているとは言い難い。高校3年間を通して計画的な食育の指導が望まれる。また、今回作成した高校生向き食生活点検は、高校生が自分の食生活を振り返り、自分の食生活の問題点を確認する上で適当であり、多くの家庭科の授業で活用されることを期待する。そして、限られた家庭科の授業時間ではあるが、一人一人の生徒にとっては、生涯の健康にかかわる大切な食育の時間であることを家庭科教員が自覚し、効果的な授業づくりを心がけてほしい。

■[6] 食事バランスガイドの基準値と高校生の1日分のめやす

料理区分	1つ(SV)の基準値	高校生の1日分のめやす	
		男(SV)	女(SV)
主食	炭水化物 40g	6~8	5~7
副菜	野菜重量 70g	6~7	5~6
主菜	たんぱく質 6g	4~6	3~5
牛乳・乳製品	カルシウム 100mg	2~3	2
果物	果物重量 100g	2~3	2

〈追記〉

今回紹介した「食生活の点検」は、大修館書店の平成25年発行家庭科教科書に掲載されている。[家総305] p107, [家基308] p87, [家基309] p86

〈引用・参考文献〉

- 1) 野中美津枝. 高校生における食生活の是正対象と体調不良状況. 日本家政学会誌, 2013, vol.64, no.2, p.101-106.
- 2) 野中美津枝. “8章食生活の授業づくり.” 中学校高等学校家庭科指導法. 中間美砂子, 多々納道子編著. 建帛社, 2011, p133-150.
- 3) 野中美津枝. “2. テーマをもって朝ごはんを作ろう.” パワーアップ家庭科. 荒井紀子編著. 大修館書店, 2012, p110-112.
- 4) 内閣府. 食育白書. 平成24年版, 勝美印刷, 2012, 181p.
- 5) 文部科学省. 食に関する指導の手引. 2007, 199p.
- 6) 文部科学省. 高等学校学習指導要領解説家庭編. 開隆堂出版, 2010, 215p.

DIYでうち磨き・3

洗面所の湿気対策

末永 京

すえなが・きょう

ATELIER n° 905主宰。DIY アドバイザー。自宅での木工教室を中心に、ホームセンター等で木工を教える。「ママにうれしい木工、子どもにやさしい木工」をモットーに、託児つき木工教室や子どもむけワークショップも開催。ブログ「ママに嬉しい木工**こどもに優しい木工」
ameblo.jp/kuricoroom/

この家に越してきて、早いものでもう5年目。今でこそあちらこちらセルフリフォームしていますが、一番初めにした場所、それは洗面所でした。

洗面所には小さな窓はついているもののあまり風通しは良くなく、お風呂から上がるとお風呂からの湿気で洗面所のビニルクロスの壁は汗をかいたようにびっしょり。これではカビが生えるのも時間の問題と思い、洗面所の壁をビニルクロスから珪藻土に替えることにしました。

珪藻土とは、大昔の植物性プランクトン(珪藻)が、長年にわたり海底などに堆積して化石化した天然の鉱物です。珪藻土は湿度の高い時には湿気を吸い、乾燥している時には吐き出してくれる『調湿』の効果があります。その他、消臭効果や耐火効果なども。

メーカーによっていろいろなタイプの珪藻土が出ていますが、我が家はビニルクロスの上から直接塗れるものにしました。このタイプなら、もし珪藻土を剥がしたくなった時に、下のビニルクロスごと壁からビリビリと一緒に剥がすことができます。

もうひとつ作業の効率を大きく左右するのが、粉タイプか練りタイプかという点です。粉タイプは、粉の珪藻土を大きな容器に入れ、そこに水を注ぎ混ぜ合わせなくてはなりません。これが想像以上に力のいる作業な上に、うまくやらないと粉が舞い真っ白の顔になってしまいます。また、水の分量が多すぎると珪藻土が緩くなり塗りづらくなります。それに対し練りタイプはすでに練っているので、ふたを開ければすぐ塗り始めることができます。コストは多少高くなりますが、私は断然こちらをおすすめします。

この珪藻土を壁、天井に塗ってからは、お風呂上がりに壁に水滴を見ることもなくなり、4年経った現在もカビひとつ生えていません。これも珪藻土のおかげでしょうか。

洗面所のセルフリフォームはこれだけに終わらず、建売住宅の味気ない洗面台をなんとかおしやれに変身させようと鏡に木枠を付けリメイクし、収納扉には油性ワックスで塗った杉材を両面テープで張り付けました。洗濯機との隙間には、ぴったりサイズの5段棚を制作。洗濯機上の窓には窓枠を作り、その中に洗剤などを収納しています。

それまで生活感の漂っていた洗面所が、リゾート風の洗面所に大変身!! 照明に照らされる珪藻土のコテ跡を眺めているだけで癒されます。

初めてセルフリフォームに挑戦する時は、洗面所やトイレなど比較的狭い空間から始めるとよいでしょう。ゴールが見えるのも早いので、最後まで楽しくやり遂げることができると思います。うちの中に不満を見つけたら、きっとその時がDIYの始め時です。

BEFORE



AFTER



新教科書 のご案内

2013(平成 25)年 4 月施行
新学習指導要領準拠・文部科学省検定済

家庭総合 [家総 305]
豊かな生活をともにつくる

家庭基礎 [家基 308]
豊かな生活をともにつくる

[家庭 309]
未来を拓く **高校家庭基礎**

大切に思うこと、育てたい力

1 生活観の確立ができるように

毎日の生活の営みのなかで起こる変化や問題によって、人生は小さく、ときに大きく変わっていくものです。高校生が高校生という時期に、将来の自分を想像しながら生活について学び、自分なりの生活観を確立できることは、人生のさまざまなできごとを力強く乗り越えていく強さにつながると考えます。

2 自立や共生ができるように

男女が協力して家庭や社会を築くこと、世代や国籍、障がいの有無を超えて共生すること、環境に配慮した生活を営むことなど、生活者として自立や共生ができる能力を育てたいと考えます。

3 課題をみつけ、解決できるように

教科書に収録された課題、実習や実験、体験的な学習を通して、生活の課題を積極的に改善・充実できる知識や技術を身につけ、その問題解決能力を、家庭、学校、地域、社会でぜひ発揮してもらいたいと考えます。

編集の基本方針

1 基礎基本が確実に習得できるように

国際化、情報化、少子高齢化、価値観の多様化といった、すべてが刻々と変化する現代に生きる高校生にとって、健康で文化的な生活を築いていくために必要な基礎的・基本的な知識や技術とは何か。この問いをつねに繰り返しながら、家庭科が対象とする幅広い学習内容から基礎・基本事項を精選しています。

2 興味関心をもって学べるように

生徒自身が興味関心をもって学べるよう、本文記述を補足説明する側注、学習の理解に役立つ適切な図表、コラムや課題をもうけて、自分の考えを広げたり発展させたりしながら、より深く学習できる工夫をしています。

3 学習効果が高まるように

オールカラーの美しい配色、視線の混乱が少ないレイアウト、豊富なイラストや写真で、学習効果がさらに高まるようにしています。

家庭総合 家庭基礎 紙面見本

【家総 305】
豊かな生活をともにつくる

【家基 308】
豊かな生活をともにつくる

縮小倍率 59 %

家庭総合 p.56 ~ 57
家庭基礎 p.44 ~ 45

point 1

見開きもしくは1ページで学習内容をまとめています。学習内容の区切りがつけやすく、授業計画が立案しやすくなっています。

point 2

記述は、生徒の日常生活に身近な話題をきっかけに、重要なことからおさえつつ学習を徐々に深めていける展開にしています。

point 3

図表やコラム、側注などの補助教材は、スペースの許すかぎり、数多く収録しています。教科書1冊でも毎日の授業に対応できます。

point 4

図表に配置しているイラストは、高校生が親しみやすいものを選びました。色づかいも鮮やかに、学習の理解を促します。

* 呼びかけ *

これから学習すること、今、学習していることが、自分の生活に深く関係していることをつねに意識できるように、タイトルは「呼びかけ型」にしました。また、本文も「私は～」「あなたは～」と、呼びかけや問いかけを随所に織り交ぜています。

* 体験的学習の充実 *

実験・実習課題の「Practice」、ミニ課題「try & hint」、そして章末課題「学習を生活にいかそう」に取り組むことで、学習が生活と関係しているという実感がもてます。実践的な学習はもちろん、小論文などの課題にも最適です。

1 高齢者の生活をみつめよう

高齢期に生じる生活課題は何だろう。高齢期を充実させるためには、どのようにしたらよいだろうか。そして、まわりの高齢者と、どのようにかかわっていったらよいかを考えてみよう。

1 生涯発達と高齢期

❶ 高齢者 社会的には65歳以上の人を高齢者という。さらに、65～74歳を前期高齢者、75歳以上を後期高齢者と区分する。

① 平均寿命の国際比較



❶ 高齢期という時期 2065年ごろには、今は高校生のあなたも**高齢者**と呼ばれる年齢になり、**高齢期**(老年期)を迎える。私たちは、ある日突然に高齢者になるのではない。日々の生活が、連続し、積み重なって生涯発達の完成期として高齢期を迎える。高齢期は、これまでの生活の統合の時期であると同時に、新しい生活の形をつくり出す時期でもある。平均寿命の延びとともに、高齢期は20年近くにもわたる長い時間となっている。それは、やり残したこと、次なる目標に挑戦するのにじゅうぶんな時間である。

❷ 私たちと高齢者 私たちは高齢者を「支援の必要な人」と思ったり、高齢期を「何かを失う時期」と思い込んではいないだろうか。

身近な高齢者を思い浮かべてみよう。人生で培ってきた思慮深さや寛容さ、経験や技術をいかして活躍する高齢者は本当に多く、その力に、私たちは育てられ、助けられている。私たちは、充実した生活を送る高齢者からさまざまなことを学ぶとともに、高齢期の課題とその解決方法を考えていこう。

FOLLOW UP エイジズム

エイジズムとは、高齢期の心身の機能低下への無理解や蔑視、高齢者の能力が現代社会には通用しない、などの一方的評価による高齢者差別のことをいう。それは、就労機会の制約、高齢者に配慮のない生活環境、医療・年金・介護などの社会制度の貧困などにあらわれる。



現在、世界的に活躍している高齢者や歴史上に名を残した高齢者にはどのような人があるか名前をあげてみよう。

② 高齢期を生きる



hint! その高齢者がどのような人生を送ってきたかも調べてみよう。



資料の豊富さは
トップクラス!!

2

高齢期の心身の特徴と生活

※① このほか、体温調節機能が低下して脱水症状が起こりやすい。バランス調整力が低下して転倒しやすい、などがある。特に、夏の高湿・高湿度下では熱中症にかかり、命を落とす危険がある。

※② **結晶性知能** 人間の知能は、結晶性知能と流動性知能に分けられる。結晶性知能は、技術や経験をもとにものごとを解決する能力。流動性知能は、記憶力や判断力、計算など、瞬時にものごとを判断する能力である。

※③ **健康寿命** 日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のこと。WHOが2000年に公表したことばで、平均寿命から自立した生活ができない期間を引いた年数が健康寿命になる。2000年のWHOの報告書では、日本人の健康寿命は男性72.3歳、女性77.7歳で世界第1位であるが、平均寿命と比べるとやや短い。健康寿命をいかに平均寿命に近づけるかが、これからの高齢社会の課題である。

1 体の変化・心の変化

私たちの心身は、加齢とともにその形態や機能が変化する。

個人差はあるが、75歳以上になるとその変化が大きくあらわれる場合が多い。たとえば、視力や聴力、筋力や骨の強度、免疫力、記憶力や瞬時の判断力、環境の変化への適応力といった機能が低下してくる。そうした心身の変化をうまく受け入れられずに自信を失ったり、孤独感をもってしまうこともある。

一方で、結晶性知能は加齢による低下があまりみられず、自立した生活で主体的に問題を解決したり、積極的な社会活動を続けることで、それはさらに高度な能力(知恵)になっていく。人生の成熟期に知恵をいかして活躍する高齢者はたいへん多い。

2 心身の変化への対応

加齢にともなう心身の変化はだれにでも生じる。そこには、

若いときからのライフスタイルが大きく影響し、始まる時期や生じる部位、速度には大きな個人差がある。高齢者にとって心身の健康維持は大きな課題である。定期的な健康診断、バランスのとれた食事、体力に応じた運動の継続、趣味や社会参加の機会をもつことによって健康寿命を延ばす努力が大切である。

* 側注 *

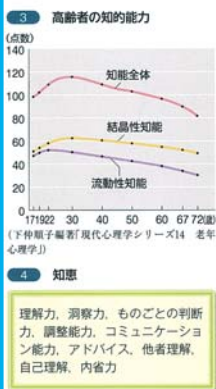
学習の理解に役立つよう、用語解説や補足説明をていねいに詳しく掲載しました。

* FOLLOW UP *

読みものを中心に本文と関連の深いトピックスを集めた「FOLLOW UP」は、生徒の興味関心をさらに広げます。

* 豊富な資料 *

教科書1冊で、一通りの学習ができるよう、授業でよく使われている資料を中心に満載しました。グラフは、可能な限り数値を掲載してありますので、的確に傾向を読み取ることができます。



FOLLOW UP 介護の必要高齢者の割合

あなたは、介護の必要高齢者がどのくらいいるか知っているだろうか。65歳以上の高齢者のうち、介護保険制度(→p.63)で、生活に支援や介護が必要と認定された高齢者は約17%である。75歳以上(後期高齢者)になると、たしかに支援や介護の必要高齢者は増えてくるが、それでも7割の高齢者は健康に留意しながら、自立して生活している。

5 介護の必要高齢者の割合(2010年)

	65歳以上	65~74歳 (前期高齢者)	75歳以上 (後期高齢者)
合計	16.9(%)	4.3(%)	29.9(%)
要支援Ⅰ	2.2	0.6	3.9
要支援Ⅱ	2.2	0.6	3.9
要介護Ⅰ	3.0	0.7	5.4
要介護Ⅱ	3.0	0.8	5.2
要介護Ⅲ	2.3	0.6	4.1
要介護Ⅳ	2.1	0.5	3.8
要介護Ⅴ	2.0	0.5	3.5

(厚生労働省「介護保険事業状況報告」(2012年))
▲各年齢別の被保険者数を100として算出。

未来を拓く 高校家庭基礎 紙面見本

[家基 309]

縮小倍率 59 %

p.150 ~ 151

point 1

見開き（1 title）＝ 1 時間（1 unit）。1 時間の授業内容を見開きで展開。授業計画の立てやすさ、学習の効率のよさが際立ちます。

point 2

「基礎・基本を確実に」。かぎられた時間内で家庭科全分野が学習できるように配慮しました。

point 3

実習課題「Try & Hint」に取り組むことで、学習していることと生活とが深くかかわっていることを直感的に理解できます。

point 4

図表は、重要資料を厳選して収録しています。巻末「資料編」の資料と合わせれば、[家基 308] に匹敵する資料数です。

* 基礎・基本を確実に *

基礎・基本を確実に身につける。これを第一に考えました。学んで欲しいこと、身につけて欲しいことを精選し、見開き＝1 時間にまとめて展開しています。ページ上には毎時間の学習内容をイメージしたイラストを配し、読みやすい文字、イラストや写真で構成した図表など、親しみやすい紙面づくりを心がけました。

* 実践的な学習を充実 *

見開きに一つ登場するミニ課題「ワーク」と章末課題「学習を生活にいかそう」に取り組むことで、学習が生活と関係しているという実感があります。実践的な学習はもちろん、小論文などの課題にも最適です。

1 生活が環境に及ぼしている影響を考える

1 私たちの生活と環境問題

今あなたは、毎日の生活でどのくらいの量の電気やガス、水を使用しているだろうか。

私たちの生活は、自然を基盤として成り立っている。私たちは、便利で快適な生活や経済的に豊かな生活をめざすあまり、大量の資源やエネルギーを用いて大量生産されたものを大量消費してきた。その結果、容器包装や食べ残し、使わなくなったものなどのごみ、調理・洗濯・入浴・水洗トイレなどからの生活雑排水などの大量廃棄の問題、かぎりある資源・エネルギーの枯渇、大気汚染や温暖化のような気候変動など、環境に大きな負荷を与えている。

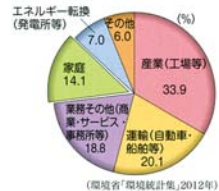
近年では、海外から輸入される原材料や製品も少なくない。海・空は全世界につながっている。私たち一人ひとりのライフスタイルの選択、一つひとつの具体的な行動が、身近な環境だけでなく地球規模の環境に

1 日常生活における環境負荷の例



[注] 2009～2011年の統計より試算。衛生用紙：ティッシュペーパーやトイレットペーパーなど。非耐久財：食料などの消耗品。半耐久財：衣類など耐用年数の短いもの。耐久財：家電製品など耐用年数の長いもの。
（環境省「環境白書」、総務省「家計調査年報」などより）

2 部門別二酸化炭素排出量の割合（2009年度）



ワーク

Try あなたの住む地域のごみ事情を調べてみよう。現在とこの10年間の変化を調べて比較してみよう。

Hint ごみの量・内容・処理方法・処理費用（税金からの支出）の現状がどうなっているか、自治体の広報資料等を参考にしてみよう。



授業計画が 立てやすい、 見開き = 1 時間

学習のねらい

- ▼現在の消費生活が環境に与えている影響を理解しよう。
- ▼社会の変遷と環境とのかわりについて考えよう。
- ▼自分自身の生活を地球環境とのかわりからとらえ直し、環境に調和したライフスタイルを実践しよう。



環境

も影響を及ぼしているのである。

2 循環型社会・低炭素社会を実現するライフスタイル

自分自身の生活が、どのくらい環境負荷を与えているか考えたことがあるだろうか。一般廃棄物や水質汚染物質、地球温暖化のおもな要因といわれている二酸化炭素排出などの発生源として、家庭の占める割合は少なくない。

かぎりある資源を有効に用いるためには、資源を循環させることが不可欠である。「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の生活を見直し、新たな資源の投入を抑え、廃棄物なるべく少なくする「循環型社会」の構築が求められている。

二酸化炭素排出の少ない低炭素社会を実現するには、エネルギー消費量の削減が必要である。まずは今の生活を点検し、エコライフをめざして具体的に取り組んでみよう。

●① 一般廃棄物に占める生活部門(家庭)からの割合は71%(2009年度)。水質汚染物質では53%(2009年度)となっている(環境省「環境統計集」(2012年))。

●④ エコライフ エコロジカル(環境に調和した)ライフスタイル(生活様式)のこと。

* 図表の読み取りも確実に *

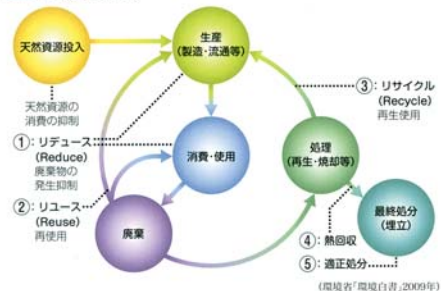
図表にイラストを配置したり、フローチャートで視覚的な理解が得やすいように工夫しています。

また、図や表からどのようなことが読み取れるのか、「スターくん」がやさしく、ていねいに解説します。

* コラム *

読みものを中心に本文と関連の深いトピックスを集めた「コラム」は、生徒の興味関心をさらに広げます。

3 循環型社会の姿



図の①～⑤は、私たちがとるべき行動の優先順位で、循環型社会の基本枠組みを定めた循環型社会形成推進基本法(2000年制定)に明記されています。①の前に「ごみになるものは断る(リフーズ: Refuse)」ことが、さらに廃棄物の発生抑制につながります。リデュース、リユース、リサイクルを3Rと呼び、リフーズを加えて4R、リペア(Repair: 直す)を加えて5Rとすることもあります。

コラム

MOTTAINAI

ものは多様な資源からつくり出されている。「もったいない」は、ものや資源をできるかぎり有効に活用しよう、という気持ちから発せられることば。
「持続可能な開発と民主主義・平和への貢献」からノーベル賞を受賞(2004年)した前ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイさんにより、日本の「もったいない」精神にもとづいた生活が、価値あるライフスタイルとして再発見され、「MOTTAINAI」ということばで海外にも紹介されている。あなたのまわりの「もったいない」精神にもとづいた生活の例にはどのようなものがあるか、考えてみよう。

Cooking

調理実習

家庭総合……………家総 305

● 日本料理の献立

さつまいもご飯、麩とみつばのすまし汁、ぶりの鍋照り焼き、青菜のごま和え

● 西洋料理の献立

若鶏のソテー・トマトソース、コーンクリームスープ、ツナビーンズサラダ

● 中国料理の献立

炒飯（焼きめし）、番茄木耳湯（トマトときくらげのスープ）、青椒肉絲（ピーマンと肉のせん切り炒め）、杏仁豆腐（牛乳かん）

● 正月料理三種

だて巻き、煮しめ、紅白なます

● デザート三種

プリンアラモード、チョコバナナマフィン、どら焼き

● 軽食の献立 I

親子どんぶり、野菜の浅づけ

● 軽食の献立 II

ベーコンクリームパスタ、ガーデンサラダ

● お弁当

おにぎり、鶏のから揚げ風、厚焼き卵

● 環境に配慮した調理

ドライカレー、イタリアン卵スープ



家庭基礎……………家基 308

高校家庭基礎……………家基 309

● 日本料理の献立

ご飯、わかめととうふのすまし汁、肉じゃが、きゅうりとしらすの酢のもの

● 西洋料理の献立

めかじきのハーブパン粉焼き、コンソメジュリエース、ブランマンジェ

● 行事食の献立

ちらしずし、茶わん蒸し

● デザート三種

フルーツあんみつ、チョコバナナマフィン、どら焼き

● 環境に配慮した調理

レタスチャーハン、ゆで鶏とザーサイのサラダ、ジンジャースープ

● 軽食の献立 I

親子どんぶり、野菜の浅づけ

● 軽食の献立 II

ベーコンクリームパスタ、ガーデンサラダ



Sowing

被服実習

● ハーフパンツ

スリットの入ったパンツ

● ベスト

えりつけ、パイアステープ処理の入った本格派ベスト

● ペットボトルカバー

小物ですが、被服製作が一通り学べるおすすめの題材



小社の家庭科教科書は、毎年可能なかぎり、法律や制度の改正、社会状況の変化等を反映した記述等の変更、統計資料のデータ更新をおこなっております。鮮度が命の家庭科。いつも最新の状態でお使いいただけるようにしています。

指導資料類・ 副教材のご紹介

教科書を
フォローアップ!
毎日のご授業を
バックアップ!!

現行版同様、充実の**指導資料**と
副教材を揃えています。

* 3冊の教科書とも同じ商品構成です。詳しくは、各教科書ごとの「教科書・指導資料・副教材パンフレット」をご覧ください。

家庭総合

豊かな生活をともにつくる

家総 305

- ①教授用指導資料・授業展開編
【体裁】B5判2色刷 各冊40～144頁
- ②教授用指導資料・教科書解説編
【体裁】B5判2色刷 224頁
- ③教授用参考資料
【体裁】B5判1色刷 224頁
- ④評価問題例集
冊子：【体裁】B4判1色刷 112頁
CD-ROM：1枚・Windowsのみ
- ⑤学習ノート
生徒用：【体裁】B5判1色刷 144頁／570円
教師用：【体裁】B5判2色刷 144頁



家庭基礎

豊かな生活をともにつくる

家基 308

- ①教授用指導資料・授業展開編
【体裁】B5判2色刷 各冊40～104頁
- ②教授用指導資料・教科書解説編
【体裁】B5判2色刷 176頁
- ③教授用参考資料
【体裁】B5判1色刷 192頁
- ④評価問題例集
冊子：【体裁】B4判1色刷 96頁
CD-ROM：1枚・Windowsのみ
- ⑤学習ノート
生徒用：【体裁】B5判1色刷 112頁／570円
教師用：【体裁】B5判2色刷 112頁



未来を拓く 高校家庭基礎

家基 309

- ①教授用指導資料・授業展開編
【体裁】B5判2色刷 各冊40～104頁
- ②教授用指導資料・教科書解説編
【体裁】B5判2色刷 168頁
- ③教授用参考資料
【体裁】B5判1色刷 192頁
- ④評価問題例集
冊子：【体裁】B4判1色刷 96頁
CD-ROM：1枚・Windowsのみ
- ⑤授業ノート
生徒用：【体裁】B5判1色刷 160頁／570円
教師用：【体裁】B5判2色刷 160頁



[家総 305] [家基 308] [家基 309] 学習ノート・授業ノート

教科書準拠の学習ノート。自学自習・理解度チェック・まとめに最適。解答として教師用をご用意。

2 家族・家庭をみつめよう

教科書 p.16~19

1 現代の家族・家庭 ①

【1 基本】 家族について、以下の問いに答えよう。

(1) 次の()に当てはまる語句を記入しよう。

家族とは、「(①) という一組の男女を中心として、その近親の血縁者が(②) をともに生活している小集団」と一般に考えられてきた。しかし家族は、時代により、社会により、そのありかたや中心となる(③)の結びつきが、いっしょに住む人の構成などが(④)していくものである。近年では、**核家族^a**、**直系家族^b**といった家族構成のほか、(⑤)や(⑥)の関係で(⑦)を別にして住んでいるなどの住まいかた、事実婚や養親・養子関係などのように(⑧)や(⑨)はないが(⑩)や(⑪)をともにしている関係といった結びつきなど、家族の形やありようはさまざまである。最近の日本の家族の動向をみる場合、統計上は「住居と生計をともにしている集団」である(⑫)によって把握することが多い。

(2) 下線部a,b,cのことばについてそれぞれ簡潔に説明してみよう。

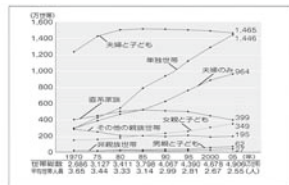
- a. 核家族
()
b. 直系家族
()
c. 事実婚
()

(3) 核家族に祖父母・おじ・おばなどの他の親族が加わった家族は何と呼ばれるだろうか。
()

【2 応用】 多様な家族としての結びつきかたや住まいかたの例をイラストで示し、その生活のようすについて創作してみよう。

イラスト	生活のようす	イラスト	生活のようす

【3 基本】 下のグラフは、わが国の世帯構成割合と世帯総数、平均世帯人員の推移を示している。このグラフから読み取れる家族の動向をまとめてみよう。また、そのような家族の動向の背景として考えられることをまとめてみよう。



●グラフから読み取れる家族の動向

●家族の動向の背景として考えられること

【4 実践】 あなたが住んでいる自治体の世帯構成割合や世帯の家族類型別世帯数を調べてみよう。どのような特徴があるだろうか。

調べた自治体 ()

【参考】 国勢調査の結果は、各自治体のWebページなどでも見ることが出来る。

▲家庭総合 [家総 305] 学習ノート

教科書 p.74~75

4 消費者としてどう生きるか

【1 文の()に当てはまる語句を記入してみよう。

消費者問題の未然防止や解決をめざして、日本の消費者政策は進められ、1968年に(①)法が制定され、消費者保護に関する施策の基本方向が示された。2004年には、「保護」から「自立」支援政策への転換をめざして改正がおこなわれ、(②)法と改称された。また、複数の省庁にまたがった横断的な取り組みが必要である消費者問題について、適切に対応できる消費者行政の一元化をめざし、(③)が新設された(2009年)。

【2 製造物責任とはどのようなことか、教科書などをみてまとめてみよう。

【3 次の消費者の権利と責任の表の()に当てはまる語句を記入してみよう。

8つの権利	5つの責任
○(①)への権利 ○情報を与えられる権利 ○(②)をする権利 ○(③)を唱えられる権利 ○生活の基本的ニーズが保証される権利 ○(④)に対する補償または賠償を受ける権利	○商品について(⑤)をもつ責任 ○自ら(⑥)し、公正な取引を求められるように行動する責任 ○自らの消費行動が他社、とりわけ弱者に与える影響を(⑦)する責任 ○(⑧)する責任 ○(⑨)する責任

【4 消費者問題に関する記事を探してみよう。そして内容を整理して分析してみよう。

切り抜いた記事を貼ってみよう

テーマ(見出し)	
出所(新聞名や情報元等)	
概要(記事のあらましやポイント)	
問題点や対応策(被害の状況や今後の対策等)	

MEMO

▲家庭基礎 [家基 309] 授業ノート

評価問題例集

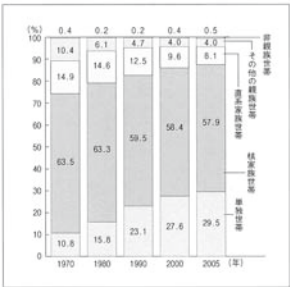
教科書準拠の教師用評価問題例集。評価問題例集の問題に加え、教科書本文・図表等も収録した、加工・編集に便利な CD-ROM も。

家庭総合 [家総 305] 評価問題例集

2 家族・家庭をみつめよう 教科書p.16～25

問題11 家族について、あとの問に答えなさい。

右の図は、世帯構成割合の推移である。最近の日本の家族の動向をみる場合、統計は世帯によって、把握することが多い。



【問1】統計上使用している「世帯」について、説明しなさい。

【問2】核家族と直系家族を簡単に説明しなさい。

核家族	
直系家族	

【問3】グラフから読み取れる日本の世帯構成の推移について述べなさい。

4

教科書p.74～75

問題14 わが国の消費者政策について、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- (1) 消費者問題の未然防止や解決をめざして、日本の消費者政策は進められてきた。()
- (2) 複数の省庁にまたがる横断的な取り組みが必要である消費者問題について、適切に対応できる消費者行政の一元化をめざし、2009年に国民生活センターが設置された。()
- (3) 1968年に制定された「消費者基本法」は、2004年に改正され、名称も「消費者保護基本法」と改称された。()
- (4) 消費者基本法は、行政が消費者を権利の主体として位置づけ、その権利を行使できる制度、被害を救済する体制の充実・整備をめざすものである。()

問題15 消費者の権利と責任ある行動について、あとの問に答えなさい。

消費者の権利については、1962年、アメリカの(1)大統領が^a「消費者の4つの権利」を提示して以来、その考えかたが広く普及した。その後1982年、国際消費者機構は、「消費者の(2)つの権利と(3)つの責任」を提唱している。

【問1】文中の(1)～(3)に適する語句を入れなさい。

(1): (2): (3):

【問2】下線部aの「消費者の四つの権利」を答えなさい。

問題16 次の語句を説明しなさい。

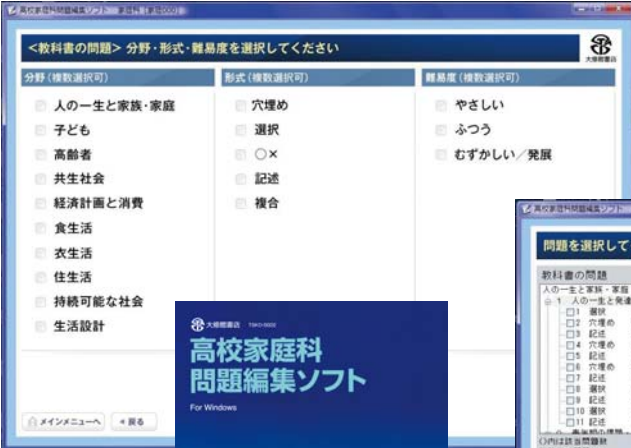
① 製造物責任法 (PL法):

② 経済的投票行動:

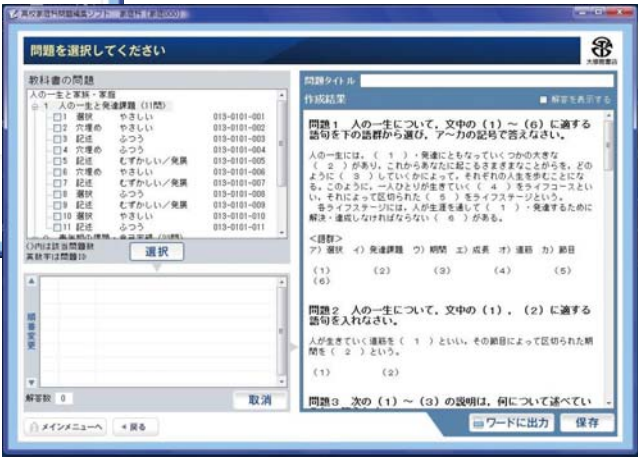
36

高校家庭科問題編集ソフト

教科書をベースに作成した問題約 1,000 問を収録。分野別、問題形式別、難易度別に絞り込んで問題を選択し、Word に読み込んで自由に編集できるソフトです。生活にかかわる豆知識問題も収録されています。中間・期末テストに、授業プリントに、幅広くお使いいただけます。



分野・形式・難易度選択画面



問題選択画面

問題1 次の図を見て、あとの問1-2に答えなさい。

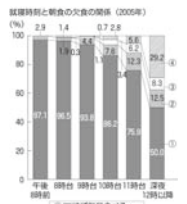


図1 この図からわかることとはどのようなことか、述べなさい。

図2 子どもの就寝時間が遅くならないように、親はどのようなことに心がけたいか、述べなさい。

問題2 乳幼児の基本的欲求の段階について、表中の(1)～(5)に適する語句を入れなさい。

欲求	(1)	(2)
睡眠		
食事		
排泄		
安全		
愛情		

Word での問題作成例

リニューアル!

大修館書店 家庭科情報室

出版物のご案内

教科書

平成25年度施行・新学習指導要領準拠の新しい教科書を中心に、編集方針から教科書内容、指導資料等まで詳しくご紹介しています。
教科書・指導資料・副教材パンフレットを、電子ブックでご覧いただけます。

●デジタルパンフレットを閲覧する

- ▶ 編集方針
- ▶ 紙面見本
- ▶ 編集趣意書
- ▶ シラバス案
- ▶ もくじ
- ▶ 実習紹介
- ▶ 年間指導計画案
- ▶ 検討の観点と内容特色

教科書準拠のシラバス案、検討の観点と内容特色のExcelファイルをダウンロードしていただけます。

▼デジタルパンフレット閲覧画面



大修館書店 家庭科情報室

最新更新日時: 2013/04/16 **NEW** 教科書デジタル
21世紀を生きる高校生たちに、夢あふれる輝かしい未来
そんな願いを込めて編集しております。

ようこそ、大修館家庭科情報室へ!

当ホームページでは、高等学校家庭科の先生方へさまざまな情報をお届け
「出版物のご案内」では、高等学校家庭科教科書、教師用指導資料、副教
「情報のひろば」では、毎日の授業に役立てていただけるような情報をお

出版物のご案内

教科書

新学習指導要領準拠 新家庭科教科書



●デジタルパンフレットを閲覧する

- ▶ 編集方針
- ▶ 紙面見本
- ▶ 編集趣意書
- ▶ シラバス案
- ▶ もくじ
- ▶ 実習紹介
- ▶ 年間指導計画案
- ▶ 検討の観点と内容特色

●デジタルパンフレット

- ▶ 編集方針
- ▶ 紙面見本
- ▶ 編集趣意書
- ▶ シラバス案

新学習指導要領準拠 家庭科教科書

“生活の創造” シリーズ



新家庭総合[家庭017]

▶ 内容紹介はこちら



新家庭基礎[家庭046]

▶ 内容紹介はこちら

“明日を拓く” シリーズ



高校家庭総合[家庭028]

▶ 内容紹介はこちら

情報のひろば

家庭科通信



情報誌「家庭科通信」のWeb版です。PDFでご覧いただけます。

- ▶ 最新号(50号)へ **NEW**
- ▶ バックナンバーはこちら

きょうの特別講義

大学や各種研究機関の先生方が学問領域に関する最新の研究動向を紹介しています。
▶ 男女共同参画社会の構築に向けて一歩先を進める女子学生を創る「カルタ教材」の活用—

あしたの授業研究

高等学校の家庭科の先生方へ。
▶ 食の自立を目指して—「食の自立」を通して生きる力を育成する—

お知らせ

編集部から先生方へのお知らせです。(▶ お知らせ一覧はこちら)

- ▶ 学会情報「日本家庭科教育学会第56回大会」 **NEW**
- ▶ 学会レポート「日本家庭科教育学会2012年度例会」 **NEW**

Number Now

Number Now

● **日本**

高校1年生のスマートフォン保有率

61.7%

(宝島社株式会社「センター「高校生との未来生活と生活設計に関するアンケート調査」(2013年7月調査)」より)

都立15市議会の議会定額(2013年7月分)

14億5131万6千円

(家計簿 経済生活資料より)

月間読書総冊数(2012年6月分)

43万3312冊

(そのうち44人はサハリ朝日新聞のアプリ読者、200人は読者アプリのダウンロードに関する統計対象。
(厚生労働省「毎月読書統計」より))

● **世界**

経団連や国連等の会員数でなくする企業の数(2010年)

約800人/日

(セゾンは西澤博樹氏、ウィーン・ブーン氏)

Key Word

Data File

関連書籍のご紹介

[illegible]

手仕事を残す

石橋富士子

文・イラスト／いしばしふじこ

イラストレーター。女性誌、教科書などの挿絵、イラストエッセイや手作り小物、和モノデザイン、制作など多彩に創作している。「家庭科通信」の表紙イラストも創刊時から手がけている。著書に『知識ゼロからの着物と暮らす入門』『知識ゼロからの着物と遊ぶ』（幻冬舎）、『べたこさんの手作り生活』（フィールドワイ）などがある。ホームページ「テーブルトーク」も更新中。<http://petaco.sakura.ne.jp/>

着物を着る毎日の中で、自分が欲しいと思う物を探したり、作ったりしています。

着物の小物などは割と簡単に部分で作れる物も多いので、ひとつずつまわると次から次へ手作りしたくなってきます。

そんな暮らしの中、いつの間にか自分だけの楽しみが半襟のデザインをして商品を作り、販売するという仕事に発展しました。

半襟は襟が汚れないように襦袢の襟部分にかぶせる布です。小さな布ですが、色や柄が着物のアクセントになる重要な小物です。

着物を着始めたころ、京都の半襟専門店に行くと、様々な手刺繍の半襟を見たことがあります。絹に細い糸で刺繍された一枚一枚を眺め、その美しさとお値段に、ため息が出ました。

以前読んだ本に、明治時代の半襟職人は月3枚の半襟を刺繍することで家族3人が暮らしていた、とありました。それほど高価なものだったのか、物価が安かったのか。どちらにしてもうらやましくなります。

私のデザインした半襟は、ベトナムで農家の女

性たちが農閑期の手の空いたときに手刺繍して仕上げています。木綿の布に木綿の糸で刺繍した半襟は、きっちりとした日本刺繍に比べるとかなり牧歌的で、同じ物が2枚とない個性的な仕上がりになります。

手刺繍はとても根気がいる作業なので、最近では賃金の安定している工場（ミシン刺繍による大量生産のライン）に職を変える人も多いと聞き、とても残念に思います。

いったん途絶えてしまった手仕事は復活が難しい。それは日本もベトナムも同じです。

幸い、私のデザインする木綿の手刺繍半襟を気に入って買ってくくださる方も多いので、出来るだけ長くベトナムの農家の女性たちとスクラムを組んで手刺繍の商品の仕事を続けたいものです。

それにはお互いの理解と、仕事に対する正当な賃金は不可欠です。楽しみながら仕事することも同じように大切です。そしてなにより、買って使ってくくださる方がいることも大切です。

作り手が楽しんで作った商品は、使う人も幸福にするのだと思います。



Key Word

フィルタリング

携帯電話やスマートフォンを利用する際、インターネット上の有害サイトを一定の基準で判別し、閲覧を制限するサービス。

携帯電話会社では、18歳未満の子どもが携帯電話やスマートフォンを利用する場合には、保護者からの申し出がないかぎり、フィルタリングサービスが無償で提供している。購入の際に、おもに子どもが使うということを販売店に伝えれば、フィルタリングサービスを利用することができる。ホワイトリスト方式(事前登録したサイトのみ閲覧可能→親が認めたもの以外のサイトは閲覧できない)とブラックリスト方式(事前登録したサイトやカテゴリーの閲覧をブロック→ブロックされたサイト以外は自由に閲覧できる)の2種類があるが、初めての利用のときにはより安全なホワイトリスト方式が望ましい。子どもが情報モラルを身につけて安全な利用に慣れてきたら、利用できる範囲を広げていけばよい。

なお、スマートフォンでのインターネット利用の際には、携帯電話会社が提供する回線(3G回線やLTEなど)を使えば、フィルタリングサービスで自動的に有害情報を遮断できるが、無線LAN(Wi-Fiなど)の場合はフィルタリングが適用されない場合がある。スマートフォンを子どもにさせる場合は、携帯電話会社やフィルタリングソフト事業者などが提供する機能制限アプリをあらかじめインストールしておくといよい。

スーパーエコスクール実証事業

文部科学省がおこなっている環境を考慮した学校施設の整備推進。約7割の学校施設が、建築後25年を経過し、エネルギー効率が低く老朽化し

ていること、地球温暖化対策として温室効果ガスの削減が重要であること、東日本大震災による電力需給対策が必要であることなどを背景として、学校施設のエコ化を推進することが必要となった。

対策の三本柱は、①省エネ：エネルギーの効率的・効果的な利用を促進するエコ改修、②蓄エネ：エネルギーの地産地消をはかる蓄エネ設備の導入、③創エネ：太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入、となっている。これらのエネルギー対策を相乗的に講じることで、学校施設が環境教育への活用や地域への発信拠点となること、地球温暖化対策に貢献することが期待される。

スーパーエコスクール実証事業は3か年の事業で、1年目に学校関係者、地域住民、設計者などが学校ゼロエネルギー化への取り組み方法を検討し、2年目にエコ改修工事の実施設計をおこない、3年目にエコ改修工事を実施するスケジュールとなっている。2012年度に3地域が選定され事業を実施中であり、2013年度の公募も始まっている。

メタンハイドレート

資源エネルギー庁は、2013年3月12日に渥美半島から志摩半島の沖合において、メタンハイドレートを分解し天然ガスを取り出す、世界初の海洋産出試験を開始し、ガスの生産を確認した。メタンハイドレートは、メタンと水が低温・高圧の状態^①で結晶化した物質である。日本の周辺海域において相当の量が存在していることが見込まれており、将来の天然ガス資源として期待されている。

産出試験に使用された船舶は地球深部探査船「ちきゅう」。メタンハイドレートの商業化に必要な技術整備の一環として、今夏には佐渡沖でも「ちきゅう」による試掘調査がおこなわれる。新たな資源の今後に注目したい。

新しい動き(1)

社会意識に関する 世論調査結果

▲2013年4月1日、内閣府は「社会意識に関する世論調査」(2013年2月調査)の結果を公表した。

本調査は、社会や国に対する国民の基本的意識の動向を調査するもので、20歳以上の日本国籍を有する者を対象に、1971年から毎年おこなわれている。調査の4項目のうち、「国や社会との関わりについて」および「東日本大震災後の意識について」の2項目の結果から抜粋してご紹介する。

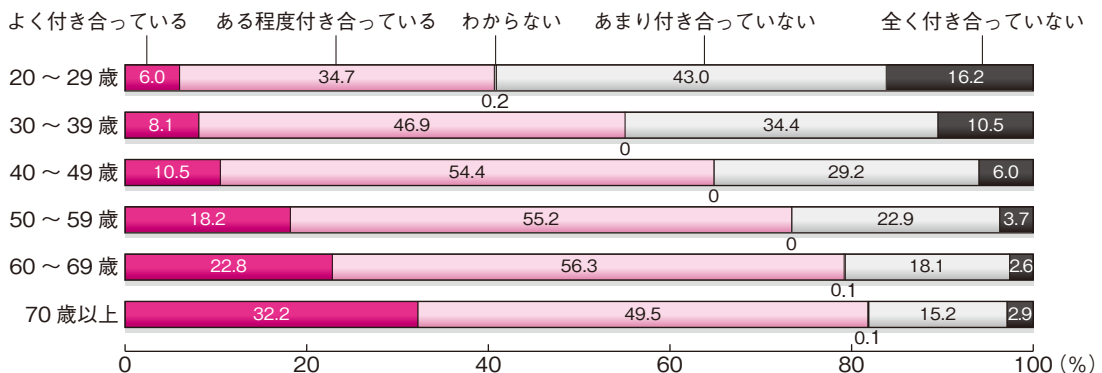
(1)現在の地域での付き合いの程度

地域での付き合いをどの程度しているか聞いたところ、「付き合っている」とする者の割合が70.3%（「よく付き合っている」19.1%+「ある程度付き合っている」51.3%）、「付き合っていない」とする者の割合が29.6%（「あまり付き合っていない」24.1%+「全く付き合っていない」5.5%）となっている。年齢別にみると、年齢が高くなればなるほど地域での付き合いが多くなることがわかる。

(2)望ましい地域での付き合いの程度

地域での付き合いはどの程度が望ましいと思う

■年齢別現在の地域での付き合いの程度



か聞いたところ、「住民全ての間で困ったときに互いに助け合う」と答えた者の割合が44.0%、「気の合う住民の間で困ったときに助け合う」と答えた者の割合が26.7%、「困ったときに助け合うことまではしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する」と答えた者の割合が16.1%、「困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす」と答えた者の割合が6.1%となっている。

(3)震災後、強く意識するようになったこと

東日本大震災後、強く意識するようになったことは何か聞いたところ、「家族や親戚とのつながりを大切に思う」を挙げた者の割合が64.5%と最も高く、以下、「地域でのつながりを大切に思う」(60.0%)、「社会全体として助け合うことが重要だと思う」(46.5%)、「友人や知人とのつながりを大切に思う」(43.3%)、「自分のことは自分で守らなければならないと思う」(41.5%)の順となっている。前回調査の回答割合とほぼ変わらず、震災を経てさまざまなつながりを大切に思う気持ちが、広く共有されていることがうかがえる。

* 詳細は、内閣府 Web ページ (<http://www8.cao.go.jp/survey/h24/h24-shakai/index.html>) で閲覧・ダウンロードできます。

新しい動き(2)

環境にやさしい企業行動 調査結果

▲2013年4月19日、環境省は「環境にやさしい企業行動調査」(2013年1~2月調査)の結果を公表した。

本調査は、日本の企業において環境に配慮した行動が定着し、環境保全にむけた取り組みが効果的に進められるよう、その実態を把握・評価し、その成果を普及させていくことを目的として、上場・非上場の計6,690社を対象として実施されたものである。そのなかの2項目を抜粋してご紹介する。

(1) 環境に配慮した取り組みの実施状況等

「環境に配慮した取り組みと企業活動における位置づけについて」の項目では、「社会的責任」と回答した企業がもっとも多く、80.0%を占めている。「重要な戦略」が6.2%、「ビジネスチャンス」が5.1%、「ビジネスリスク低減」が4.0%、「法規制等の義務」が2.9%となっている。

また、「事業エリア内での重要な環境課題について」の項目では、「資源・エネルギーの利用」が76.9%で最も多く、「廃棄物」、「温室効果ガス」、「資源の循環的利用」と続いている(■①)。「把

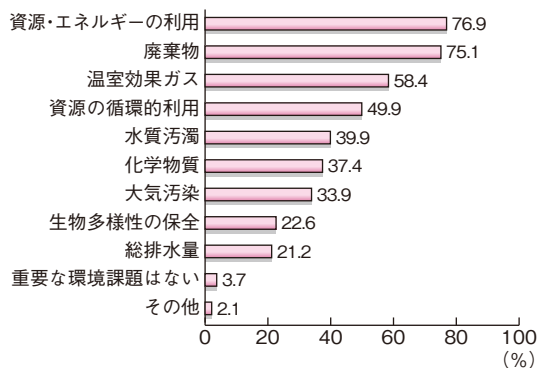
握している環境負荷データの種類」の項目では、「廃棄物等総排出量」が80.7%と最も多く、次いで「総エネルギー投入量またはエネルギー効率」が75.4%、「温室効果ガス排出量(総量)」が73.6%となっている。

(2) 環境ビジネス

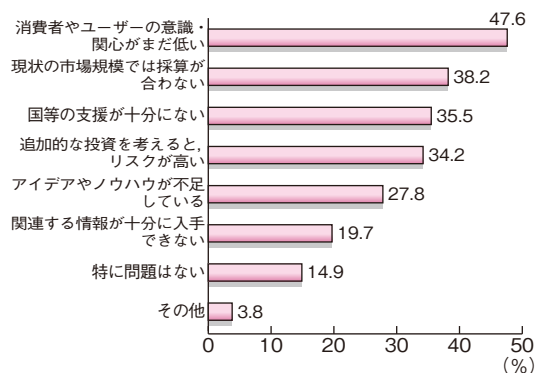
環境ビジネスは、「環境によいこと」を付加価値とした事業をさす。「環境ビジネスの取り組み状況について」の項目では、「行っている」が35.1%、「行うことを検討している」が6.0%、「行っていない」が58.6%と、環境ビジネスはまだ広まっていないことがわかる結果となっている。また、環境ビジネスを「行っている」と回答した企業に対して、「環境ビジネスの促進における問題点」を問うたところ、「消費者やユーザーの意識・関心がまだ低い」、「現状の市場規模では採算が合わない」、「国等の支援が十分でない」と続いている(■②)。また、環境ビジネスを「行っている」企業に対し、環境ビジネスの海外展開について尋ねたところ、「海外へ事業を展開している」が29.7%、「海外への事業展開を検討している」が10.4%、「海外への事業展開をしていない」が59.5%となっており、環境ビジネスを行っていても、海外展開している企業は3割にとどまることがわかる。

* 詳細は、環境省 Web ページ(<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/kigyo/h23/full.pdf>)で閲覧・ダウンロードできます。

■① 重要な環境課題



■② 環境ビジネス促進における問題点



Question & Answer

Q：居住地域で使用済み小型家電のリサイクルが始まったのですが、「小型家電リサイクル法」について詳しく教えてください。

A：「小型家電リサイクル法」は、使用済みの電子機器類等の小型家電の回収・リサイクルを推進するため、2012年8月に制定、2013年4月1日に施行された法律です。これまで、テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機の家電4品目については、「家電リサイクル法」にもとづいてリサイクルが進められてきました。「小型家電リサイクル法」は、携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機、時計、炊飯器や電子レンジ、ドライヤー、扇風機など、今まで法律の対象となっていなかったほぼすべての家電を対象とします。

小型家電には、鉄や銅、金などの有用金属といったさまざまな鉱物が含まれています。現在、日本全体で年間に廃棄される小型家電は約65.1万トンと推定されていますが、その中に含まれる有用金属などの量は約27.9万トン、金額にすると約844億円に上るといわれています。しかしこれまで、捨てられ

た小型家電は約半分がリサイクルされずに廃棄物として埋め立て処分され、また約2割は違法な回収業者によって集められ、その中には国内外で不適正に処理されているものもあり、有益な資源が活用されてこなかった状況がありました。加えて、中国やインドなどの新興国の需要増大にともなって資源価格が高騰していることや、ごみの埋め立て地である最終処分場が逼迫していることから、日本において使用済み小型家電に含まれる有用金属がリサイクルされずに埋め立てられていることに対する処置が急務となりました。こうして定められたのが「小型家電リサイクル法」です。施行のメリットは、次のようにまとめられます。

- 金や銅などの有用金属が国内で回収されて再資源化できる。
- 有害物質(鉛など)を含む小型家電を適正に処理できる。
- 廃棄物の量が削減され、ごみの埋め立て地である最終処分場を延命化できる。

「家電リサイクル法」では製造したメーカーに対象品目のリサイクルを義務づけており、消費者が使用済みになった対象品目を引き渡す方法は全国どこでも同じですが、「小型家電リサイクル法」では、市町村が使用済み小型家電の回収をおこなうことになっており、具体的にどの品目をどのように回収するかは、それぞれの市町村が決定するこ

とになっています。

2013年4月1日以降、回収体制の整備ができた市町村から、順次使用済み小型家電の回収が始まっています。消費者の費用負担は原則ありませんが、市町村、品目によっては手数料がかかる場合があります。

回収方法は、専用箱での「ボックス回収」、現行のごみ収集に新たな区分を設ける「ステーション回収」、収集した不燃ごみなどの中から選別する「ピックアップ回収」など。また、消費者が自治体に引き取りを依頼する戸別訪問回収や、イベントにおいてボックスを設置する「イベント回収」もあります。携帯電話のように個人情報が含まれるものもあるため、回収ボックスに施錠したりフタを設置したり、指導員の立ち会いのもとに回収をおこなうなどの対策を講じることによって盗難を防止することとしています。回収された使用済み小型家電は、国によって認定された事業者に引き渡され、そこで含まれる金属などがリサイクルされます。

制度開始にともない懸念されるのは、一般廃棄物処理業の許可を受けていない違法回収業者が消費者を勧誘することです。消費者は、自治体を介さない回収業者にじゅうぶん注意する必要があります。

(参考：環境省 Web ページ)

通巻51号

家庭科通信 2013年・2号

2013年5月25日発行

①本誌のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。

編集人 ◎大修館書店「家庭科通信」編集部

発行人 鈴木一行

発行所 株式会社大修館書店

〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1

Tel (03)3868-2266(編集部) / (03)3868-2651(販売部)

振替 00190-7-40504 印刷・製本 壮光舎印刷

[出版情報] <http://www.taishukan.co.jp>

[家庭科情報室] <http://www.taishukan.co.jp/kateika/>



ホットな

毎日の授業に役立つ 情報が満載!! 大修館ホームページ

大修館書店 家庭科情報室

<http://www.taishukan.co.jp/kateika/>

大修館書店 家庭科情報室

最新更新日: 2013/04/18 教科書デジタルパンフレットを掲載しました。
21世紀型教育を推進するために、様々な分野の知識・技能を身につけていくことが求められています。そのために、教科書・教材・指導資料・学習資料・評価資料・学習成果の活用が求められています。

ようこそ、大修館家庭科情報室へ！
当ホームページでは、高等学校家庭科の先生方へさまざまな情報を提供します。
「家庭科のひろば」では、毎日の授業に役立てていただけるような情報を提供していきます。

出版物のご案内 情報のひろば

出版物のご案内

教科書

家庭科総合
豊かな生活とともにつくる
[家庭309]

家庭基礎
豊かな生活とともにつくる
[家庭309]

高校家庭基礎
豊かな生活とともにつくる
[家庭309]

デジタルパンフレットを閲覧する

出版に関するお知らせやQ&Aを
更新していきます。

Up Date

家庭科出版物に関するお知らせです。

新年度教科書・副教材の更新箇所 掲載

教科書・副教材のFollow Up

情報のひろば

家庭科通信

家庭科通信のWeb版です。PDFでご覧いただけます。

家庭科通信(309号)へ
バックナンバーはこちら

きょうの特別講義

あしたの授業研究

Number Now

Key Word

Data File

出版物のご案内

Contents*教科書*副教材*Up Date

教科書や指導資料を詳しくご紹介。
デジタルパンフレットも閲覧できます。

未来を拓く
高校家庭基礎
[家庭309]

内容紹介はこちら
指導資料・準拠ノート

デジタルパンフレットを閲覧する

編集方針
紙面見本
編集趣意書
シラバス案

もくじ
設置紹介
年間指導計画案
検定の観点と内容
特色

ホットな数字・キーワード・データを
掲載します。

Number Now

「今」を知る・考えるきっかけとなる数字をご紹介します。

Key Word

各分野に関連するキーワードをご紹介します。

人の一生
共生
衣生活
その他

子ども
経済・情報
住生活

高齢者
食生活
環境

Data File

各分野に関連するデータをご紹介します。

人の一生
共生
衣生活
その他

子ども
経済・情報
住生活

高齢者
食生活
環境

情報のひろば

Contents*家庭科通信*きょうの特別講義

*あしたの授業研究 *お知らせ *Number Now
*Key Word *Data File *関連書籍のご紹介

家庭科のいまをみつめ、これからをつくる

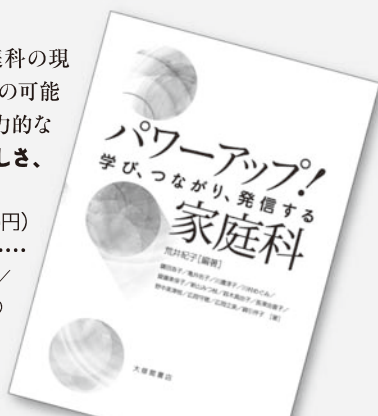
パワーアップ！ 家庭科

—学び、つながり、発信する—
荒井紀子〔編著〕

全国規模の調査等をもとに、都道府県ごとに異なる高校家庭科の現状を分析し、家庭科教師の生の声を収載するとともに、家庭科の可能性やもしろさを探り、教師のパワーアップをはかるような魅力的な取り組みの実践例を多数紹介。学ぶもしろさ、つながる楽しさ、発信する醍醐味を伝える、これからの家庭科をつくる一冊。

●A5判・208頁 定価2,100円（本体2,000円）

【目次より】第Ⅰ部 家庭科はもしろい〔家庭科のもつ現代的意味／家庭科へのエール〕 第Ⅱ部 家庭科のいま〔家庭科の役割／家庭科の実像／教師は家庭科をどうとらえているか／…〕 第Ⅲ部 これからの家庭科〔新しい家庭科をどうつくる／新しい家庭科の授業／家庭科を学ぶもしろさ、楽しさを演出しよう／…〕



大修館書店

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3934-5131

家庭科への 参加型アクション 志向学習の導入

【22の実践を通して】

編著者 ◆ 中間美砂子

著者 ◆ 小椋さやか、久保田まゆみ、小谷教子、坂本理恵子、真田知恵子、
新山みつ枝、野中美津枝、踏江和子



●B5判・179頁
定価2,100円（本体2,000円）
ISBN4-469-27001-6

生徒が実際に行動することを通して能動的に学ぶ「参加型アクション志向学習」を取り入れた家庭科の授業例を22の実践から具体的に紹介。

せりふ完成法、アンケート調査、ランキング法、ロールプレイ、ワークショップ etc.……生徒が実際に行動することを通して能動的に学ぶ「参加型アクション志向学習」を取り入れた家庭科の授業例を高等学校における22の実践例から具体的に紹介。授業の実践がわかるプリントやワークも掲載。中学校や小学校での実践にも適用できるヒント満載。

大修館書店

書店にない場合やお急ぎの方は、直接ご注文ください。☎03-3934-5131